

# 市長に政策提言

## 政策提言

議会基本条例に基づく議員全員による政策討論会において、意見の一致を見た「障がい者福祉についての提言」を議会から國島市長に提出しました。

政策討論会では、福祉保健委員会から説明の後、積極的な議員間討論が行なわれました。その中では、各議員から障がい者福祉のビジョンに関する考え、



小井戸副議長、藤江福祉保健委員長同席のもと車戸議長から市長に提言書を提出

発達障がい児の現状などの質疑を含めた意見が出され、それらをもとに再度、福祉保健委員会にて案を練り直し提言としています。提言については、下欄をご覧ください。

## 生涯にわたる障がい者への支援を

### 【背景】

①近年、※療育を希望する児童が急増しているが、体制が追いついておらず早期療育の機

会を失っている。  
②支援センター機能を「あゆみ学園」に求めているが、現在発達障がい児(者)への支援の拠点となる施設がない。  
③切れ目のない療育システムが求められてい

### 【目的】

そのような現状調査をふまえて、親亡き後も安心して暮らせる障がい者福祉の具体的施策を求める提言としま

るが、対応されていない。した。

※療育とは、発達障がいのある子どもたちが社会的自立生活に向けて機能を高めるために行なう医療と保育。治療教育。

23議会第349号  
平成23年11月7日

高山市議会  
議長 車戸 明良

高山市長 國島 芳明 様

## 障がい者福祉についての提言について

標題について、高山市議会基本条例第2条及び第12条の規定により、下記について提言する。

### 記

#### 提言内容

1. 障がい児(者)が生涯にわたり(親亡き後においても)、安心して暮らすことができる地域にするため、障がい児(者)福祉計画において、明確な施策を具体的に示すこと。
2. 児童デイサービスの質の向上と平準化に向け、サービスの中核となり情報発信および相談機能等を有する窓口を設置すること。
3. 早急に児童デイサービスセンターを拡充するため、「第二あゆみ学園(仮称)」を増設するなどして※療育が必要な子供たちに対応できる体制を整備すること。